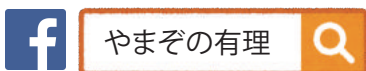


子育てから介護まで「ずっと伊丹で大丈夫！」と、はなせる街づくりを目指して。

# 伊丹市議会議員 / 無所属 / 32歳 やまぞの有理

このチラシは、伊丹市議会議員やまぞの有理が、市政情報や活動報告などをお届けしているニュースです。街頭活動・ポスティングの配布でお届けしております！



HP: <http://www.yamazonoyuri.jp/>



リクエスト大歓迎!!!

## 【プロフィール】

1985年8月伊丹生まれ・伊丹育ち / 長尾保育所・天神川小・荒牧中学校を経て明治大学公共政策大学院修了(北大路ゼミ) / マニフェスト大賞受賞(第11回・第12回と連続受賞) / 2011年伊丹市議会議員選挙において初当選(当時25歳最年少当選) 現在2期目 / パトランチーム伊丹広報担当 / 未生流(師範)・表千家 / 日々の活動は公式Facebookページにてお届け!

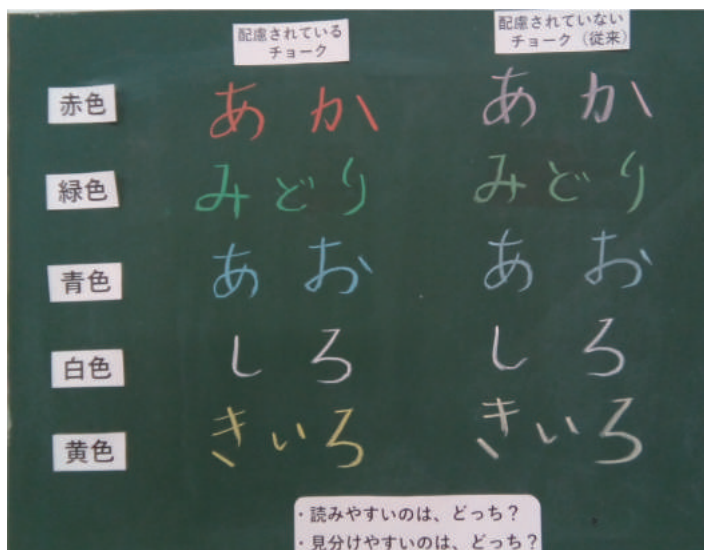


## # 拡がれ、色覚チョーク

やまぞの有理の議会での提案により伊丹市では、  
小中学校での色覚チョークの導入が拡がっています！

色弱は色を感知する細胞に原因があり、赤・緑・茶といった色が同じような色に見えたり、淡いピンクがグレーや白に見えたりします。色弱者の割合は、男性が約5%、女性が約0.2%とされ、色弱の子どもは学校で黒板のチョークが見えづらく悩んでいるケースも多いです。

これを解消するために開発をされたのが色弱者にも色の識別がしやすくなったチョーク(色覚チョーク)です。特殊な素材を使うことで一般のチョークより色がクリアに見えるのが特徴です。気になる価格ですが、企業努力によって従来のチョークと同じです。



▲色覚チョーク(左)はご希望あれば現物をお見せに伺います

文部科学省は「赤、緑、青、茶色など色のチョークを使用すると見えにくいいため、避けるようにする」とし、白と黄色の2色のみを使うように求めています。

色覚チョークを導入・使用すれば、色弱者の児童を含めたすべての児童が従来のチョークよりも黒板の文字が見やすくなるだけでなく、教員が2色のチョーク以外の色も気兼ねなく使用することが可能になり、その結果、学習環境の向上が見込まれます。

やまぞの有理は、全ての子どもにとってわかりやすい教育を行う「教育のユニバーサルデザイン化」はとても重要であると考え、色覚チョークの導入を議会で提案して参りました。

伊丹市では2017年9月議会において、色覚チョークの導入にむけて提案をしたところ、「色覚チョークが未導入であり、導入を検討したいという」答弁でした。その後2018年3月議会で再度色覚チョーク導入にむけて提案をしたところ、**「伊丹市内の小中学校では17校中7校/中学校では8校中2校が色覚チョークを導入したこと、今後とも色覚チョークの導入・使用の拡大を図っていくこと」**が明らかとなりました。

全小中学校で色覚チョーク導入できるようか尽します!!



## ■インターン活動！

大学の春休み期間を利用して議員インターンシップに参加をしてくれている大学生の活動をご報告します。街頭活動・市政報告会への参加・視察・調査など精力的に活動を頑張ってくれています！



このインターンではたくさんのお話を学ばせてもらっています！  
その中でも市政報告会というものがあり、初めて聞いたときは固そうなイメージでしたが、実際は議員さんによって個性が表れる興味深いものでした。  
インターンの残り時間も少ないですがこういった新しい発見を増やして最後までがんばりたいです！（近畿大学 小島）



私は街頭活動に参加をさせていただいたことが1番印象に残っています。  
私はもともと人前で話をするのが苦手な人で当日もすごく緊張をしていますが、みなさんの温かい声援のおかげでリラックスして話すことができました。この街頭活動では人前での話し方や言葉遣いを学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。（関西学院大学 水原）



インターン活動で伊丹市にある日本レスキュー協会（救助犬・セラピー犬育成・捨て犬保護等の動物福祉活動をしているNPO法人）を訪ねさせていただきました。  
10年前と比べて4分の1になったとはいえ、まだ全国で5万5千頭の犬・猫が殺処分されていると聞き、そういった命がなくなるよう、殺害救助犬・セラピー犬や、それに携わる職員さんが少しでも充実した環境で活動できれば、と感じました。（立命館大学 清岡）



## ■恒例の報告会開催！

2月24日19時から20時30分まで市政報告会を実施しました。今回は3月議会前でしたので、前半は伊丹市の予算について考える、後半は1月臨時議会の内容・今後の幼児教育についてご報告をさせていただき、参加者のみなさんと意見交換を実施しました。当日はグラフィックレコーディング（議論を可視化させ活発な議論を行う手法）とシールを活用した意見交換を行いました。

参加者からは「内容を振り返るのに分かりやすい。」「シールだと意見しやすい。」と大変好評でした。私自身もみなさんの興味・関心がどこにあるのかが可視化されコミュニケーションがとりやすかったです。今後も「参加してよかった!」と思っていただけるような報告会の開催を目指したいと思います。



▲グラフィックレコーディングは島津高砂市議のご協力を頂きました。

- ★次回 6月2日(土) 19:00から開催予定!
- ★場所 きららホール3階会議室
- ★内容 3月議会の質問内容の報告/NHKでも紹介されたパトランチーム伊丹活動報告

